

デジタル ポイス

恋愛相談の現場から

安藤 房子

ライブドアの前社長堀江貴文容疑者が逮捕された。テレビも雑誌も、しばしばはホリエモン一色だった。私は、株のことはまったくわからなけれど、メディアで目についたのが「粉飾決算」という言葉だ。

辞書を広げると、粉飾とは①紅・白粉でかざること。②実情を隠して見かけをよくすること。よまおいかざること。粉飾決算とは、「会社の財政状態や経営成績を実際よりよく見せるために、

貸借対照表や損益計算書の数字をこまかくすこと」(広辞苑)らしい。

堀江容疑者が粉飾決算にかかわっていたかどうかはさておき、粉飾って、なんて面白い言葉なのだろう。経営の上では罪。なのに恋愛では、なくてはならないものなのだから。「人は見た目じゃない」というのはうそだ。心理学的に見て、外見と恋愛の関係はとても深い。

まず、初対面のとき。第一印象は、会った瞬間に決まる。外見が第一印象に与える割合は、約七割。最初に好感を持ってもらえれば、のちのちまで好感を持ってもらいやすく、嫌悪感を持たれてしまつて、それを塗りかえるのは至難の業。このように「最初に持った印象があととまで続いてしまつ」ことを【初頭効果】とつづ。

恋の粉飾決算

外見の大切さは、なにも第一印象に限ったことではない。倦怠(けんたい)期を迎えたカップルが、お互いに外見に気を配ることで、倦怠期を乗り切りやすくなり、恋愛が長続きしやすくなる。

また、女性がきちんとメイクをする、男性から好感を持たれやすいばかりか、当の女性自身が自分の行動に自信を持ち、男性に大胆に近づけるといふ心理実験結果もある。

つまり、自分のためにも、相手のためにも、お互いの関係のためにも、外見に気を配るほうがいいのだ。

ところが、粉飾(「外見を飾る」と)が嫌いな人がときどきいる。メール相談してきた都内の女子大一年生の恵美さん(20)は「仮名」もそうだった。

「お化粧もスカートも大嫌い。黒

いジーンズにトレナーという格好が一番美だし、そんな自分を好きになりたい)期を迎えたカップルが、お互いに外見に気を配ることで、倦怠期を乗り切りやすくなり、恋愛が長続きしやすくなる。

この話を聞いて、ああ、残念なあとと思った。メールの雰囲気から、彼女はとても誠実で、温かみのある女性だと感じた。外見を飾るのは嫌という気持ち強いあまり、恋愛で損をしているのだ。

男性が総じて好きなのは、パステルカラーや、やわらかいイメージのファッション。だから、結婚相談所の人には「お見合いにはピンクの服を着ていきましょう」と女性にアドバイスすることが多い。黒や紺などのダークカラーや、キャリアウーマン的なパンツスーツなどは、男性に好まれないので避けらるらしい。

そんな話を恵美さんにしてみたけれど、だめだった。彼女は、そのままでは恋愛したくないと言っただ。もちろんそれはそれでひとつの考え方だろう。しかし、恋愛のチャンスを増やしたいなら、粉飾するほうが絶対にトクである。もちろん男性だってそうだ。

さて、そろそろバレンタインデー。恋人同士、夫婦同士でデートの方も多いのでは。今年は、カップルで思いっきり粉飾してみたいかがだろう。

